

会 報



第 213 号

発 行 者

社会福祉法人
長野市身体障害者福祉協会
理事長 小林 和 夫
〒380-0904
長野市大字鶴賀276-10
(長野市障害者福祉センター内)
電 話 228-3014
フакシミ 226-6263

令和7年度 事業計画

及び予算 承認される

3月13日、長野市障害者福祉センターで開催した理事会において、令和7年度事業計画及び予算について審議し、出席理事全員の賛成により承認されました。

その内容は、次のとおりです。

(以下、抜粋)

◎ 活動方針

長年にわたり要望してきた「障がいのある人もない人も共に生きる長野県づくり条例」が、令和4年10月に完全施行し、約2年半が経過しました。徐々にではありますが、市民の理解が得られつつあると感じるものの、まだまだ市全体に浸透しているとはいえない状況にあります。

条例は策定することが目的ではなく、大切なことは、実効性のある条例に育てることであります。障害者

の社会参加、社会生活を困難にして

いる「社会的障壁」の除去は、行政や事業者の対応を待っているだけでは進むことはありません。実効性のある条例に育てるためには、私たち障害者自らが勇気をもって声を上げなければ、気付いてもらえない課題がたくさんあります。

社会的障壁の除去を求める意思表示は、極めて有効な手法であること認識し、「共生社会」の実現を推進していく上で、障害者の大きな活動の目標になります。

そして、この条例に実効性をもたらすためには、「社会的障壁の除去を求める意思表示」を受ける立場の側が、その意思表示に対して適切に対応できる機能を確立していることが何よりも大切なことで、事業者並びに行政が合理的配慮をスムーズ

に提供できるような環境づくりへの真摯な努力が必要であることを引き続き訴えていきます。

「共生社会」の実現を推進するためには、当該制度、並びに「法」「県条例」等々の理解の啓発活動に力を入れることが大切で、令和7年度の大きな活動方針とします。

§ 事業計画概要

1 組織体制の強化・充実

新会員の入会がほとんど見込めない今日、会員の高齢化と、それに伴う支部の減少は年々深刻さを増し、令和6年度末には6支部の状況に至っている。これは、協会の事業運営への厳しさを強める状況である。協会活動の原点である支部組織の強化は、最大の課題であり、解決策は唯一会員数の増加のみと誰もが考えているところである。

しかし、総論としての解決策は解かっている、具体的な策をなかなか見出せない状況が続いているのが今の実情である。良い解決策を見出す努力が大切である。

(第二面へ続く)

共生社会の実現に向けて

長野市障害福祉課長

高野 晃弘

長野市身体障害者福祉協会の皆様におかれましては、日頃から本市の障害者福祉施策に格別なご理解とご協力をいただき深く感謝申し上げますとともに、会員の皆様方には、福祉の向上及び社会参加の促進のためご尽力をいただいておりますことに心より敬意を表する次第でございます。

さて、本市では障害者基本計画等で定める基本理念「障害のある人もない人も、すべての人が個性や能力を活かして自由に活動し、お互いの人格と個性を尊重し合いながら、共に生きる社会の実現を目指す。」を尊重し、障害者児の意思決定の支援に配慮することや、自立や社会参加に必要な障害福祉サービスの提供体制の整備を進めていくことなどの施策を通じて、共生社会の実現に向け取り組んでまいります。

最後になりますが、協会の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝、ご活躍をご祈念申し上げ、ご挨拶いたします。

(第一面三段目から)

2 障害者福祉増進のための諸活動

(1) 「障がいのある人もないひとと共に生きる長野県づくり条例」の正しい理解への啓発と広報活動に努める。

(2) 福祉大会、研修会をはじめ各種事業を開催し、会員の知識の向上を図るとともに会員相互の親睦や交流の輪の拡大に努める。

3 啓発活動の推進

(1) 会員及び関係者等へ障害者福祉に関するニュースや協会の事業情報などを提供するため、会報「幸わせ」を発行します。

掲載内容を充実させ、読みやすく、分かりやすい紙面づくりに心がけます。

(2) 会報「幸わせ」を朗読し録音した「声の会報」を、希望する視覚障害者の会員に配布します。

点字翻訳版を作成し、希望者に配布します。

(3) 協会のパンフレット・支部単独作成パンフレット等を活用し、会員の新規加入を呼びかけます。

(4) ホームページの内容を充実さ

せ、協会のPRや会員加入につなげます。

(5) 協会の動静に関する最新情報を、メールアドレスを登録した会員あてに、メールマガジンにより配信します。(不定期)

(6) (福) 長野県身体障害者福祉協会発行の機関紙「こころの友」の配布に協力します。

4 障害者福祉センター運営事業

長野市から指定管理者として指定されている長野市障害者福祉センターについて、引き続き適切な維持管理、利便性の向上、教室・講座の充実、利用団体のPRを推進し、利用率の向上及びボランティア育成と支援に努めます。

障害者の孤立防止を図るため、長野市中心身障害者相談員に協力をいただき、「障害者相談会(ピアカウンセリング)」を月1回開催します。

「広報ながの」を朗読し録音した「声の広報」を、希望する視覚障害者に配布します。

指定管理の更新時期にあたり、次の5か年の受託に向けて必要な手続きを行います。

令和7年度 主な行事予定

月	日(曜日)	事業内容	開催場所、内容
5	15(木)	監査	
	21(水)	理事会① 評議員選任・解任委員会	令和6年度事業報告・決算等 評議員選任
6	5(木)	フライングディスク講習会 ※	障害者福祉センター
	12(木)	定時評議員会 理事会②	令和6年度事業報告・決算、 役員選任等 正副理事長選定等
	26(木)	健康教室①	障害者福祉センター
		支部長会① 情報交換会①	
7	17(木)	希望の旅①	タングラム斑尾東急リゾート
	24(木)	希望の旅②	
10	4(土)	長野市身体障害者福祉大会(第57回)	障害者福祉センター
	16(木)	希望の旅③	(目的地未定)
	30(木)	さわやか合唱交流会	
11	6(木)	健康教室②	障害者福祉センター
		支部長会②	
		情報交換会②	
	8(土)	信州ふっころフェスティバル2025 (長野県身体障害者福祉協会)	(開催地未定)
12	13(木)	理事会③	年度前期の業務執行状況
1	14(日)	クリスマスの集い	障害者福祉センター
	8(木)	新春のつどい	ホテル信濃路
2	15(日)	ニュースポーツ競技会と歌声広場 ※	障害者福祉センター
3	12(木)	理事会④	次年度事業計画・予算
	19(木)	支部長会③ 情報交換会③	障害者福祉センター 次年度事業計画

※ 青年部主催、女性部協力により実施されます。

※ 開催の可否、事業の変更は決定次第会報等でお知らせします。

令和7年度 法人本部事業会計予算

(単位:円)

区分	科目	7年度 予算額	前年度 予算額	増 減
収 入	会費	120,000	138,000	-18,000
	余暇活動 支援事業	105,000	90,000	15,000
	広報活動事業	100,000	100,000	0
	健康教室事業	15,000	15,000	0
	受取利息 配当金	200	500	-300
	雑収入	22,500	22,500	0
	事業区分間 繰入金	7,230,300	6,279,000	951,300
	合 計	7,593,000	6,645,000	948,000
支 出	人件費支出	4,684,600	3,852,200	832,400
	事業費 (助成金)	1,083,800	1,060,900	22,900
	大会参加助	108,000	164,100	-56,100
	部会活動助	168,000	193,000	-25,000
	支部活動助	42,000	56,000	-14,000
	本部活動助	587,800	386,300	201,500
	研修	178,000	261,500	-83,500
	事務費支出	1,824,600	1,731,900	92,700
	旅費交通費	136,200	142,400	-6,200
	広報費	264,000	284,000	-20,000
合 計	諸会費	534,400	549,400	-15,000
	その他	890,000	756,100	133,900
	合 計	7,593,000	6,645,000	948,000

この会報は、共同募金からの助成で発行しています。

5 主な活動内容

(1) 大会参加関係

障害者福祉向上の一助とするため、当協会主催「第57回長野市身体障害者福祉大会」を開催します。

信州ふところプラン推進会議主催の「信州ふところフェスティバル2025」（令和7年度第75回長野県身体障害者福祉大会 併催）に参加します。

(2) 部会活動関係

補助機関である視覚部・聴覚部・女性部・青年部に対し、活動助成金を交付するとともに、活動に対する助言等を行います。

また、青年部が主催し、女性部が協力して開催する「フライングディスク講習会」（6月）と「ニュースポーツ競技会と歌声広場」（2月）については、身体障害者手帳所持者全員が参加対象のため、運営に協力します。

(3) 支部活動関係

各支部が開催する「研修事業」に研修事業助成金を交付するとともに、支部活動に対して助言等を行います。また、年末には、重度障害者に対して慰問品を配付します。

(4) 本部活動関係

会員のレクリエーション等を通じて社会参加の促進と会員相互の親睦を図るため、「長野市障害者レクリエーション活動等支援事業補助金」を活用し、「希望の旅」を7月に2回、10月に1回、計3回実施します。10月は、旅行事業者のリフト付きバスにより実施します。

「新春のつどい」（1月）は、社会参加の促進と会員相互の交流を深めるために開催します。

(5) 研修関係

身体障害者手帳所持者の健康管理のために必要な知識の習得や体験交流の場の提供として、（福）長野県身体障害者福祉協会の事業費補助を受け「健康教室」を年2回開催します。

「長野市身体障害者福祉大会」において、身体障害者手帳所持者の見聞を広めるため講演会を開催します。

(6) その他

（福）日本身体障害者団体連合会（日身連）が幹旋する、お茶及び日常生活物品等の販売に協力するとともに、（福）長野県身体障害者福祉協会が事業者と共同企画した車用品

等の割引購入会員の増加を図り、収益の一部を協会（支部を含む）に還元します。

長野市障害者福祉センター利用者で構成する実行委員会が主催する「クリスマスの集い」等に参加します。

（福）長野県身体障害者福祉協会北信ブロック協議会の年3回のブロック会議（うち1回は交流会）に参加します。

6 収益事業

(1) 福祉補助事業

市有施設への自動販売機の設置、車いすの貸出しを引き続き実施します。

(2) ローソン長野市民病院店販売事業
長野市民病院内でローソンの運営を行い、物品等の販売事業を実施します。

ニュースポーツを通して健康づくりを

スポーツ指導員 平出 勲

2月16日（日）、青年部主催のニュースポーツ（ボッチャ）講習会の講師の一人として参加させていただきました。

皆様、御存知のように、ボッチャという競技は老若男女誰もが等しく楽しめるものです。パラリンピック

以来、日本中に広まりました。

当日の参加者は23名で、高齢者の方々が多かったですね。

長野市が提唱しておりますフレイル予防の一つの機会であります。参

加された方は一段と健康度がアップしたと思います。

最初に投じた白い球に向かって青い球と赤い球を投げ合い、より近づけたチームが勝つという競技です。最初はうまく投げられなかった方も、投げる機会が増すごとに白いボールに近づける技能が身につきました。

また、白い球に近づけたプレイに対しては、敵味方関係なく賞賛の拍手で褒めあっていました。

ニュースポーツにはいろいろなものがあり、楽しめます。年2回の機会にぜひご参加いただき、心身の健康度をアップさせましょう。

最後に会員の皆様のご健康とご多幸を心より祈念申し上げます。

縁側から語りつく

「縁が和リレー」 第24回

夢中になれること

余暇教室指導員補助 宮澤 雅美

私は余暇教室の指導員補助をしています。

余暇教室に通われている皆さんと話をしていて、感じるのは、皆さんには趣味や続けていることがしっかりとあるということです。地質考古学、株式投資、コンサート鑑賞、桜や紅葉巡り、スマホ写真など、ほかにも盛り沢山で、お話をされているときの生き生きとした笑顔とはつらつとした声に、ついつい吸い込まれてしまいます。何歳になっても、夢中になれることがあるのは、素敵だなと思います。

実は私は、そんな皆さんからの刺激を受け、挑戦できたことがあります。それは、昨年、松本マラソンの完走を目標に掲げ、練習期間を設けて準備し、なんとか達成できたことです。

余暇教室に在ると、はたまた、このセンターに一步踏み入れると元気がもらえ、皆さんが楽しく頑張っているのだから、「私も!」という心になります。これからできることを見つけ、挑戦したいと思います。

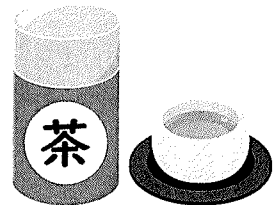
お茶等をあっせんします。

にしんれん事業所(株)の商品(お茶等)をあっせんします。
本部会員の方は、協会事務局まで注文の連絡をお願いします。
支部会員の方は、各支部長へ注文をお願いします。

商品例

商品名	単位	定価
深蒸し茶(特上) 100 g、深蒸し茶(上)200 g、深蒸し茶 300 g	1 本	1,080 円
煎茶(特上) 100 g、煎茶(上) 200 g、煎茶 300 g	1 本	1,080 円

他にも商品があります。カタログをご希望の方は事務局へご連絡ください。



参加者募集

◎「フライングディスク講習会」

日時：令和7年6月5日(木)

午後1時30分～

場所：障害者福祉センター

体育室

参加申込みは、5月23日(金)までに、電話で、協会事務局へ

◎「希望の旅」

日時：令和7年7月17日(木)

令和7年7月24日(木)

行先：タングラム斑尾東急リゾート

(上水内郡信濃町)

参加費：一人5,000円

(バス、昼食代)

※都合のいい日に参加してください。
※参加申込みが少ない場合は、17日又は24日のどちらか1日に集約させていただきます。

※歩行に不安のある方は、介助者の同行をお願いします。(同行者も参加費のご負担をお願いします。)

参加申込みは、6月6日(金)までに、電話で、協会事務局へ



お知らせ

■青い鳥郵便葉書の無償配布■

日本郵便(株)では、重度の身体障害者等に「青い鳥郵便葉書」(通常郵便はがき)を配布しています。身体障害者の場合は、次のとおりです。
配布対象 身体障害者手帳1・2級
配布枚数 一人につき20枚
受付期間 6月2日(月)まで
申込み方法 お近くの郵便局で、身体障害者手帳を提示のうえ「申込書」に必要事項を記入し提出。代理人による提出も可能。



編集後記

今冬は、暖冬との予報に反して、東北、北陸、山陰地方で記録的な大雪の模様が、テレビ、新聞で報じられました。しかし雪が少ないと夏場の水不足が心配されます。いよいよ百花繚乱の季節です。できるだけ外出して春を楽しみましょう。私の地元には樹齢約千三百年、国の天然記念物の神代桜があります。ぜひ見に来てください。

編集委員 丸山 勝